

第5号

2012年10月

夢気球だより

「夢気球だより」編集部 発行
〒610-0121
城陽市寺田西ノ口7-4西邦ビル2階
城陽市国際交流協会内
電話 0774-57-0713



一周年記念

学習者・支援者交流会

台風17号のため延期

9月30日(日)に予定されていた、「夢気球」発足1周年記念 学習者・支援者交流会が、台風17号の影響で延期になりました。7月から準備を進めて、30名余りの参加を予定していたのに残念ですが、お天気ばかりはどうにもなりません。

10月21日改めて開催

7月から交流会の準備を始め、開催日をどうするかとなりまして、それなら「水度神社」の祭りが毎年9月30日から10月2日まであるし、「城陽市国際交流協会」の近くの御旅所に屋台もでるしで、学習者の皆さんに日本のお祭りを少しも味わってもらえたらと、9月30日(日)に開催日を決めたわけです。しかし、この日は「いつも雨」と地元では言われています。「ヒヨット」と思いますが、やっぱり雨(雨どころか台風)でした。交流会は日を変更して10月21日に開催いたします。ぜひ参加して下さい。そこで、参加PRも兼ねて準備の一端を紙面で紹介したいと思えます。これらの写真は、現在開かれている日本語教室の様子です。日本語教室は、土曜日を除き毎日開かれて



教室紹介

Vol.3

多分、何の事だかわからない読者が大半だと思えます。「夢気球」の金曜日とはとても賑やかなのです。3クラスが開講されており、よくたまに一緒にレッスンをしたりしていても、学習者の皆さんは笑顔でいっぱいです。

サロン・ド・チャイナ



「教室が終わっても、いつもおしゃべり」

皆さんそれぞれのレベルや要望に答えながら学習する熱意に引込まれながら支援活動をこなしています。「夢気球」の活動は京都府下の他の日本語学習支援団体の中でも注目を集めているようですが、城陽市国際交

新しい仲間の紹介

森田哲生さん

みなさん、はじめまして。7月27日から西山雅文さんの教室で支援見習いをさせてもらっている森田哲生です。

今年7月に陸上自衛隊を定年退官し、現在は、鹿児島県に本社

現状の夢気球の学習者の内、年齢的には中間層が殆どおられませんが中国出身の方は約3分の1を数えます。3クラスの授業内容は、学習者の希望や支援者の考え方により異なりますが、休憩時間にはお互いに交流があり「サロン化」しています。

その際は、思う存分母国語でのおしゃべり(見てみるとこの様な事には国境は無いなと感心してしまします)を楽しんでストレスを発散されているかの様です。語学の学習にとって「継続すること」は重要な因子の一つですが、そのほかにも例えば「レッスンを受ける」

改めて10月21日に、より多くの皆さんの顔が見られますように。(編集部 西山記)

における国際平和協力活動に参加した経験や、米国防務省語学研修所での米語学習等を通じて、異民族間の相互理解の為の語学の重要性を痛感しました。それを身近なところで具体化し、皆さんの役にたきたいという思いがあります。

中国の街角で



フフホト (内モンゴル自治区)

中国で思うこと

9月初旬、中国の内陸部の西安、延安、フフホト(内モンゴル)の3都市を旅する機会がありました。共通することは、どの都市でも高層マンションの建設ラッシュです。「谷間の延安の地にそんな建設して、だれが住むの?」と私の呟き、フフホトでは、3年間

が、悪くないと感じ、確実に進んでいく感じは想像することには困難であったのです。支援者の方もゆっくり

わいです。夕方同様賑わいます。中国の庶民の気持が広がって相互の結びつきが広いということなのでしょう。

待合室

「ツクツクボウシ」

プールのシーズンはまだもうすぐ終わろうとしているが、私は必死になってプールに通っている。回数券を週に3回のペースで使わないと残りはない紙切れになってしまふのだ。友達に頼んで2枚だけは買ってもらった。それだけでもずいぶん楽になる。持つべきものは友達だ。

「ツクツクボウシ」の声につられて雑木林の土手を歩いたらブナの木の私の身長ぐらいのところを。精一杯近づいてみた。蝉がどんなふうか羽根をすりつけるのを見たかったのだ。そうすれば、ちよつとした自慢話ができる筈だった。▼あれ、羽根なんて動いていない。動いているのは胴体とお尻だけだ。変だな、鈴虫は羽根をすり合わせているのが見えたのに。大急ぎで家に帰って調べてみた。▼蝉は羽根をすり合わせて鳴くのではなく、ちゃんと体の中に発音器があって、胴体とお尻はマンドリンのように共鳴するのだそう。私は今までずっと蝉は羽根で鳴くと思っていた。どうして間違えて覚えてしまったのだらう。とても恥ずかしい。▼ただ、ひとつだけ幸いなことがある。今まで子供達に蝉の鳴き方を説明する機会が一度も無かった。蝉の話に限れば、彼らはこれからの私をせいで恥をかくことはないのだ。(杉島記)

記事募集

「夢気球だより」を第2号より様式を刷新し、今回第5号を発行する事ができました。ここでより一層紙面の充実を図るため、紙面を通じて意見の交換の場になればと思ひ、会員並びに読者の皆さんに広く記事募集いたします。紙面の都合上文章に手を入れさせていただきますが、だくことあるかと思ひますが、基本原文のままのせさせていただきます。なお匿名はご遠慮下さいませようおねがいします。(編集部 西山)

投稿先

niciyama0323@gaia.eonet.ne.jp

「夢気球」の参加の機会は、「国際交流協会だより(1月号)」で夢気球の活動を知り、地域の皆さんのお役に立ちたいと思つたからです。私は、カンボディア、イラク、ハイチ